

「人づくり つながりづくり 地域づくり」の実現を目指して

令和3年度 かがしま県民大学中央センター事業報告書18

# かがしまの 生涯学習



## はじめに

かごしま県民大学中央センターの令和3年度事業報告書をまとめましたので、ここに報告します。

本センターは、「第3期鹿児島県教育振興基本計画」（平成31年2月策定）に基づき、県民の皆様が生涯を通じて学び活躍できる環境づくりの実現を目指して、「調査・研究」「学習機会の提供」「学習情報の提供」の視点で事業を行っております。

令和2年度の第10期中央教育審議会生涯学習分科会では、人生100年時代やSociety5.0など、社会の変化や課題を踏まえた新しい時代の生涯学習や、学校教育の領域を除いた組織的な教育活動を対象とする生涯学習・社会教育の在り方が議論されました。そこでは、新型コロナウイルス感染症に関する対応等も踏まえ、それぞれの場において「学びを止めない」ことの必要性が共有されたとともに、ICT等の新しい技術を活用した学びなど、新たな学びの可能性も示されました。

このことを踏まえ、本年度は遠隔会議システムを積極的に活用して事業を展開しました。「調査・研究」では、昨年度から実施している「かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会」をオンライン形式で実施し、市町村からの支援ニーズに対する本センターと大学等の取組の実際について、事例報告と情報交換、協議を行いました。

「学習機会の提供」では、「メディア研修講座」において新しくアドバンス型を設け、ICT機器の活用に係る内容の講座を実施するとともに、市町村等におけるメディアに係る課題解決のための技術支援等をサポート型として実施しました。「生涯学習県民大学講座」では、タブレットパソコンやモバイルルーター等を活用した様々な形態の講座を試みましたが、「かごしま青年塾」運営事業においても、一部の講座をオンライン形式としましたが、塾生が自宅等からオンラインで参加できるよう工夫をしました。

「学習情報の提供」では、「指導者・講師情報提供システム」を各市町村の生涯学習・社会教育関係機関向けに整理し、大幅に見直しました。

本報告書が市町村をはじめ、多くの社会教育関係者の皆さまに活用され、各所での事業推進の一助となれば幸いです。

結びに本報告書の作成に当たり、多大な御尽力、御協力を賜りました関係者並びに各関係機関の皆様へ深く感謝申し上げますとともに、今後とも本センターの各種事業に、御支援、御指導を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月

かごしま県民大学中央センター  
所長 青谷 有美代

# 目 次

## はじめに

I	事業体系	1
II	学習機会の提供	2
1	生涯学習県民大学講座	2
2	メディア研修講座	6
3	かごしま青年塾	8
4	かごしま県民大学連携講座	10
III	学習情報の提供	13
1	学習成果の展示	13
2	情報システムによる情報提供	14
3	学習情報の集約・提供	15
4	生涯学習資料の展示	16
5	「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業	17
6	生涯学習相談窓口	18
IV	調査・研究	19
1	かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会	19
2	生涯学習に関する調査・研究	21
V	その他	24
1	視聴覚サービス	24
2	アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業	25

※ 次ページ以降の凡例 「中央センター」→かごしま県民大学中央センター  
「交流センター」→かごしま県民交流センター

(注) 調査結果等に示す割合は、小数第2位を四捨五入しているため、合計が100%と一致しない場合があります。

# I 事業体系

学習機会の提供	学習情報の提供	調査・研究
生涯学習県民大学講座	生涯学習に関する情報誌の発行	かごしま県民大学中央センター大学等連携懇談会
メディア研修講座	生涯学習に関する資料等の展示	
かごしま青年塾	生涯学習ふれあい展示	
かごしま県民大学連携講座 とことまなぶー講座	各大学等における公開講座等	鹿児島県社会教育・生涯学習現状調査
	情報システムによる情報提供 (指導者・講師情報, デジタルコンテンツ)	学習プログラムの開発
	生涯学習相談窓口	
	「学びの手帳」推進事業	
	県視聴覚ライブラリー運営	
	アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業	

(参考) 主催講座の講座数及び受講者数

事業	令和3年度		令和2年度	
	講座数	受講者数	講座数	受講者数
生涯学習県民大学講座	20 講座	515 人	19 講座	408 人
メディア研修講座	39 講座	2,091 人	3 講座	65 人
かごしま青年塾	1 講座	38 人	1 講座	38 人
かごしま県民大学連携講座(とことまなぶー講座)	5 講座	224 人	6 講座	298 人
合計	65 講座	2,868 人	29 講座	809 人

※令和3年度も、令和2年度に引き続き新型コロナウイルスの影響で予定していた講座が相次いで中止となった。

## II 学習機会の提供

### 1 生涯学習県民大学講座

#### (1) 目的

市町村や大学等と連携して、現代的課題や市町村が抱える課題を解決するための学習機会を提供することにより、市町村の実情に即した生涯学習の振興を支援する。

#### (2) 実施主体

中央センター及び開催を希望する市町村教育委員会

#### (3) 内容

現代的課題や市町村が抱える課題の解決に向けた内容  
(中央センターと開催市町村教育委員会が協議して決定)

#### (4) 概要

##### ア 会場及び講座数

講座開設市町等	市町数	講座数
瀬戸内町, 指宿市, 与論町, 龍郷町(中央センターと同時開催) 屋久島町, 錦江町, 徳之島町, 伊仙町, 南種子町, 枕崎市 薩摩川内市, 知名町	12	24
中央センター(かごしま県民交流センター)	1	(重複除く)4
合計	13	28

※ 屋久島町・錦江町・伊仙町・枕崎市は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催中止。

##### イ 講師

各講座内容に応じた専門家

##### ウ 講座型式

(ア) テーマ学習型…1講座90分, 各会場2講座, 講義形式を基本とする講座

(イ) プロジェクト型…課題解決に向けて, 形式や手法など, 効果的な方法を中央センターと協議しながら一緒に考えていく講座

(ウ) アドバンス型…先進的でモデル的な内容の講座(中央センターが企画・運営)

##### エ 受講者

県民

##### オ 定員

1講座30人程度(施設の状況や感染症状況に応じて設定)

##### カ 受講料

無料

#### (5) その他

ア 広報・準備及び運営等は市町村教育委員会と中央センターが協働・分担して行う。

イ 講師の旅費及び謝金は県が負担する。

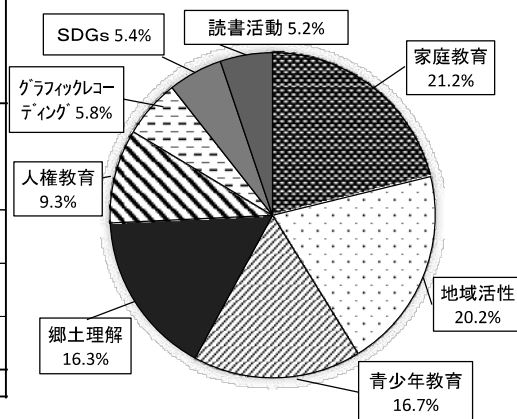
(6) 講座一覧及び受講者数

市町	テーマ	講座名	講師(敬称略)	会場	期日	時間	受講者数
瀬戸内町	教育・子育て(家庭教育)	★子どもはのびのび育てよう ～アドラーに学ぶ～	鹿児島純心女子短期大学 教授 河野 一典	瀬戸内町きゅら島交流館	6/6 (日)	10:30～12:00	49
	教育・子育て(家庭教育)	★子どもの「こころ」と「からだ」のサイン ～コロナ禍におけるストレス対処法～	鹿児島女子短期大学 教授 松元 理恵子			13:00～14:30	37
指宿市	教育・子育て(家庭教育)	子供たちに自分事として考えさせる情報モラル教育	かごしま県民大学中央センター 指導主事兼専門員 坂元 一善	ふれあいプラザ なのはな館	6/20 (日)	13:00～14:30	23
	地域活性(青少年教育)	地域の力が子どもの力に!	子育てふれあいグループ自然花 代表 大脇 治樹			15:00～16:30	24
与論町	教育・子育て(人権教育)	LGBT理解講座 ～多様な性について理解を深めよう～	レインボーポート向日葵 メンバー 正貴	与論町地域福祉センター	7/3 (土)	15:00～16:30	22
	教育・子育て(青少年教育)	もう一度、性教育。子どもに伝えられる大人になろう	鹿児島県助産師会 助産師 安藤 美智子			16:45～18:15	20
龍郷町	郷土理解(歴史)	西郷菊次郎生誕160年記念 ～菊次郎が考え、なしたこと～	鹿児島県立開陽高等学校通信制課程 教頭 吉満 庄司	龍郷町生涯学習センターりゅうかく館	7/31 (土)	10:30～12:00	37
	地域活性(歴史)	西郷菊次郎生誕160年記念 ～菊次郎を育んだ故郷を歩く～	まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎			13:00～14:30	33
屋久島町	教育・子育て(人権教育)	一人ひとりの人権が尊重され「誰一人取り残さない」地域づくりについて	オフィスピュア 代表 たもつ ゆかり	屋久島離島開発総合センター	8/19 (木) 中止	13:30～15:00	—
	食生活	屋久島の海は知られざる食材の宝庫	鹿児島大学水産学部 教授 大富 潤			15:10～16:40	—
錦江町	医療・健康(健康維持)	健康寿命延伸のための運動の効果と実践	鹿児島体育大学スポーツ生命科学系 教授 中垣内 真樹	錦江町文化センター	8/21 (土) 中止	10:30～12:00	—
	郷土理解(歴史)	「武の国」だけじゃない薩摩の魅力	尚古集成館 学芸員 小平田 史穂			13:30～15:00	—
徳之島町	教育・子育て(人権教育)	★誰もが幸せに生きるために ～人の心に思いを馳せて～	鹿児島県人権同和対策課 研修専門員 鎌田 豊作	徳之島町生涯学習センター	12/11 (土)	13:00～14:30	26
	教育・子育て(読書活動)	★子育ての 魔法の力「読む・書く・聞く」	鹿児島国際大学 特任准教授 岩下 雅子			15:00～16:30	27
伊仙町	教育・子育て(青少年教育)	「うとうしい」けれど「見守って」 ～思春期の子どもの特性と関わりを考える～	鹿児島純心女子短期大学生活学科 准教授 森木 朋佳	伊仙町中央公民館	8/29 (日) 中止	13:00～14:30	—
	教育・子育て(青少年教育)	‘発達デコボコ’とうまく付き合う ～一緒に探る子育てのヒント～	志学館大学人間関係学部 助教 野元 明日香			15:00～16:30	—
南種子町	地域活性(まちづくり)	★地域資源を生かしたまちづくり	まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎	南種子町研修センター	1/8 (土)	10:30～12:00	21
	教育・子育て(青少年教育)	★ゲームやスマホにハマる子どもとどう関わるか	志学館大学 准教授 松本 宏明			13:30～15:00	23
枕崎市	医療・健康(健康維持)	健康食品 ～かしこく知って、かしこく元気に～	鹿児島大学大学院理工学研究所 准教授 有馬 一成	枕崎市市民会館	9/14 (火) 中止	13:00～14:30	—
	教育・子育て(青少年教育)	やる気のある子供の学び方と親の関わり	鹿児島大学学術研究院 法文教育学域 教育学系 副学部長 今林 俊一			15:00～16:30	—
薩摩川内市	教育・子育て(青少年教育)	子どもたちの生きる力が育つ体験活動 ～仲間との成功体験から生まれるもの～	鹿児島大学共通教育センター 准教授 福満 博隆	薩摩川内市中央公民館	10/9 (土)	10:00～12:00	13
	地域活性(まちづくり)	SDGsから考える私たちの地域の未来 ～明日一歩を踏み出すために～	鹿児島大学法文学部 准教授 酒井 佑輔			14:00～16:00	16
知名町	教育・子育て(青少年教育)	思春期のこころとコミュニケーション	志学館大学 助教 前野 明子	知名町中央公民館	10/24 (日)	13:00～14:30	30
	SDGs(環境問題)	★これからのエコライフを考える	第一工業大学(現第一工科大学) 元教授 石本 弘治			15:00～16:30	28
鹿児島市	郷土理解(歴史)	★西郷菊次郎生誕160年記念 ～菊次郎が考え、なしたこと～	鹿児島県立開陽高等学校通信制課程 教頭 吉満 庄司	かごしま県民交流センター	7/31 (土)	10:30～12:00	13
	地域活性(歴史)	★西郷菊次郎生誕160年記念 ～菊次郎を育んだ故郷を歩く～	まちづくり地域フォーラム・かごしま探検の会 代表理事 東川 隆太郎			★龍郷町から オンライン配信	13:00～14:30
	グラフィックレコーディング	★議論を描いて促す「グラフィックレコーディング」をやってみよう! (前半)	アラウス 代表 関 美穂子	かごしま県民交流センター	10/17 (日)	13:00～14:30	15
		★議論を描いて促す「グラフィックレコーディング」をやってみよう! (後半)				★東京都から オンライン配信	14:45～16:15
郷土理解(歴史)	★薩摩義士縁の地を歩く ★宝暦治水の実像に迫る	岐阜女子大学 教授 丸山 幸太郎	かごしま県民交流センター	11/7 (日)	13:00～14:30	17	
		★岐阜県から オンライン配信			14:45～16:15	17	
★印の13講座はオンラインにて実施。							515

(7) 受講者の状況

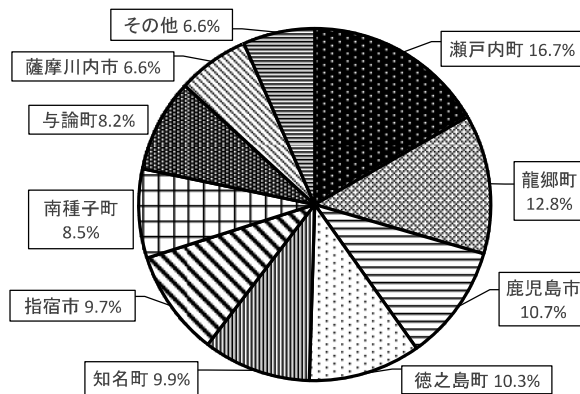
ア テーマ別

テーマ	講座内容の区分	講座数	受講者数 (人)	割合 (%)	受講者数 (人)	割合 (%)
教育・子育て	家庭教育	3	109	21.2	270	52.4
	青少年教育	4	86	16.7		
	人権教育	2	48	9.3		
	読書活動	1	27	5.2		
医療・健康	医療・健康	0	0	0.0	0	0.0
	食生活	0	0	0.0		
地域・郷土	地域活性	4	103	20.0	187	36.3
	郷土理解	3	84	16.3		
その他	SDGs	1	28	5.4	58	11.3
	グラフィックコーディング	2	30	5.8		
合計		20	515	100.0	515	100.0



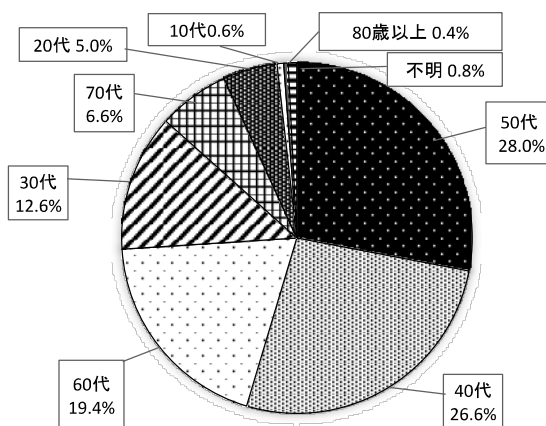
イ 市町村別

No.	参加者の市町村	合計 (人)	割合 (%)
1	瀬戸内町	86	16.7
2	龍郷町	66	12.8
3	鹿児島市	55	10.7
4	徳之島町	53	10.3
5	知名町	51	9.9
6	指宿市	50	9.7
7	南種子町	44	8.5
8	与論町	42	8.2
9	薩摩川内市	34	6.6
10	和泊町	7	1.4
11	奄美市	4	0.8
12	出水市	4	0.8
13	始良市	4	0.8
14	南さつま市	3	0.6
15	鹿屋市	2	0.4
16	日置市	2	0.4
17	枕崎市	2	0.4
18	いちき串木野市	2	0.4
19	曾於市	2	0.4
20	霧島市	2	0.4
合計		515	100.0



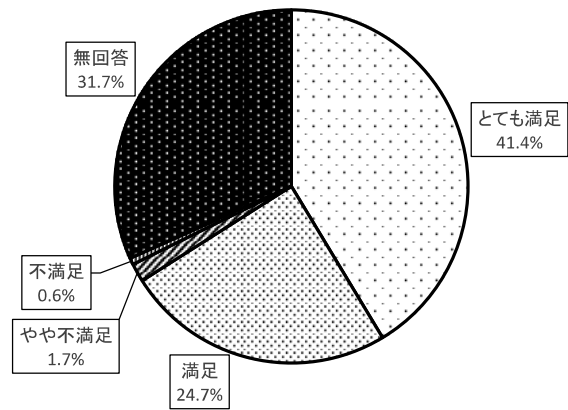
ウ 年代別

年齢	合計 (人)	割合 (%)
10歳未満	0	0.0
10代	3	0.6
20代	26	5.0
30代	65	12.6
40代	137	26.6
50代	144	28.0
60代	100	19.4
70代	34	6.6
80歳以上	2	0.4
不明	4	0.8
合計	515	100.0



(8) 受講者の満足度

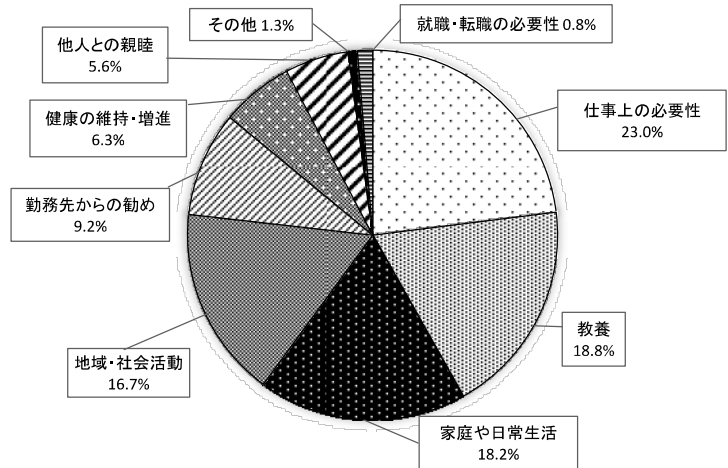
項目	合計 (人)	割合 (%)
とても満足	213	41.4
満足	127	24.7
やや不満足	9	1.7
不満足	3	0.6
無回答	163	31.7
合計	515	100.0



(9) 受講目的

項目	合計 (人)	割合 (%)
仕事上の必要性	110	23.0
教養	90	18.8
家庭や日常生活	87	18.2
地域・社会活動	80	16.7
勤務先からの勧め	44	9.2
健康の維持・増進	30	6.3
他人との親睦	27	5.6
その他	6	1.3
就職・転職の必要性	4	0.8
無回答	0	0.0
合計	478	100.0

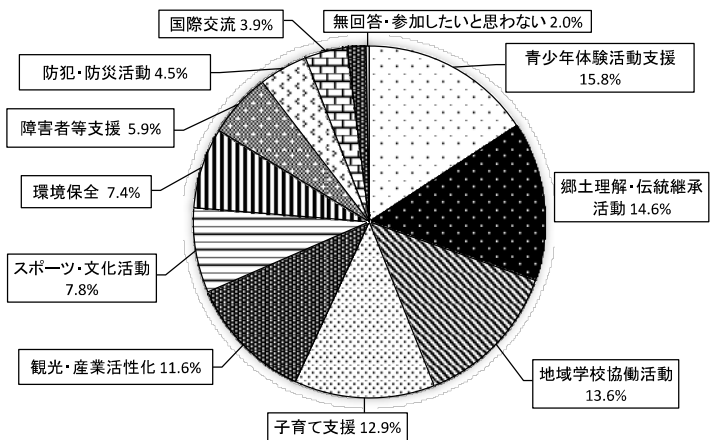
※複数回答による



(10) 受講後に参加したい活動

項目	合計 (人)	割合 (%)
青少年体験活動支援	113	15.8
郷土理解・伝統継承活動	104	14.6
地域学校協働活動	97	13.6
子育て支援	92	12.9
観光・産業活性化	83	11.6
スポーツ・文化活動	56	7.8
環境保全	53	7.4
障害者等支援	42	5.9
防犯・防災活動	32	4.5
国際交流	28	3.9
その他	0	0.0
参加したいと思わない	2	0.3
無回答・わからない	12	1.7
合計	714	100.0

※複数回答による





## 2 メディア研修講座

### (1) 概要

#### ア 趣 旨

県内市町村等におけるメディア研修の充実及び視聴覚教材の利用促進を図るために、市町村等生涯学習・社会教育関係者等を対象としてICT機器等を使用した研修を行う。市町村等におけるICT機器等を有効に活用できる指導者等を養成することを通して、ICT機器等を活用した生涯学習を推進する。

#### イ 対 象

県及び市町村等生涯学習・社会教育関係者等

#### ウ 場 所

かごしま県民交流センター及び講座依頼のあった関係団体が定める会場

### (2) 内容

#### ア テーマ学習型

中央センターが、現代的課題や市町村が抱える課題の解決に向けてテーマを設定し、講義や演習形式で行う講座

#### (ア) 実施状況（4講座）

研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者(人)
第1回、第3回メディア研修講座 ～視聴覚教材予約システムの効果的な活用～	5月21日（金）	・視聴覚ライブラリーの運営	4
	10月6日（水）	・視聴覚教材管理システムの利用法 ・オンライン講座の企画・運営	4
第2回、第4回メディア研修講座 ～ICTを活用した効果的な情報発信～	6月16日（水）	・ICTを活用した効果的な情報発信	6
	12月10日（金）	・読みたくなる広報・チラシづくり	5
合 計			19

#### (イ) 受講者の実践・感想等

氏名（敬称略）	受講した講座	講座を生かした実践・感想等
指宿市教育委員会 社会教育課 鶴田 重孝	第2回メディア研修講座～ICTを活用した効果的な情報発信～	情報発信を行う際は、ターゲットを明確に伝えたいことを具体的にアピールすることが大切であると知った。一方、発信の際には著作権など「知的財産権」にも十分留意したい。オンラインでも必要なことはきちんと学ぶことができた。移動時間の短縮や感染症のリスク軽減など、オンラインならではのメリットも大きいと感じた。

#### イ アドバンス型

生涯学習・社会教育におけるICT機器の活用について、先進的でモデル的な内容の講座

#### (ア) 実施状況（1講座）

研修講座名	期 日	主 な 内 容	受講者(人)
メディア研修講座～オンライン・メディアでなにができるのか？～ 講師：東京大学大学院情報学環教授 水越 伸 氏	10月14日（木）	・講義1：メディア論の観点 ・講義2：オンラインのできること、できないこと	19

#### (イ) 受講者の実践・感想等

氏名（敬称略）	講座を生かした実践・感想等
知名町教育委員会 生涯学習課 上原 美穂香	オンラインでは不得手なことやオフラインより効果が高まること、あるいは、これまで不可能だと考えていたことが、実は工夫次第ではオンラインでも可能になることがあることを知り、非常に参考になった。オンラインを活用するかどうかはこれまでの経験から判断する機会が多いが、あらかじめ、オンラインのできること、できないことをしっかり把握し、どのような効果を期待するのかを設定しておくことが重要だと思った。

ウ サポート型

市町村等におけるICT機器等活用の促進と教育的課題の解決を図るために、市町村等が実施するICT機器活用等に関する研修へ講師や技術支援として中央センターの職員を派遣して行う講座

(ア) 実施状況 (全34講座 オンライン：29講座)

月	日	サポート市町村(団体)	研修会名称等	オンライン
4	13	県教育庁社会教育課	鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」担当者打合せ	○
4	23	北薩教育事務所指導課長	第1回北薩地区社会教育担当者等研修会	○
4	28	鹿児島県議会事務局	写真撮影技術講習会	
6	12	屋久島町立一湊小学校	オンライン研修～子供たちに自分事として考えさせる情報モラル教育～	○
6	13	全国高等学校総合文化祭推進室	第47回全国高等学校総合文化祭生徒実行委員選考会	
6	19	県教育庁社会教育課	鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」結団式	○
7	3	県男女共同参画推進課	男女共同参画基礎講座接続テスト	○
7	4	県立図書館 奉仕課	令和3年度親子読書研修会 技術支援	○
7	6	県男女共同参画推進課	男女共同参画基礎講座接続テスト	○
7	15	県教育庁社会教育課	令和3年度社会教育主事等研修会・人権教育指導者研修会	○
7	21	薩摩川内市立視聴覚ライブラリー	ビデオ編集講座	
8	4	県教育庁保健体育課	令和3年度学校給食衛生管理等研修会・アレルギー講習会	○
8	5	県男女共同参画推進課	県内大学等男女共同参画連携会議	○
8	6	曾於市教育委員会社会教育課	令和3年度教育メディア研修講座(大隅地区)	
8	26	県男女共同参画推進課	令和3年度「女性のエンパワーメント事業」選定審査会	○
8	31	県男女共同参画推進課	職場におけるジェンダー平等推進事業コンペティション	○
9	1	県男女共同参画推進課	かごしまジェンダー平等推進プロジェクトチーム会議	○
9	24	薩摩川内市立視聴覚ライブラリー	県視聴覚教育連盟教材選定委員会	○
9	25	県男女共同参画推進課	相談室スーパービジョン	○
10	6	県男女共同参画推進課	令和3年度子どもたちの男女共同参画学びの広場推進事業	○
10	19	県教育庁社会教育課	令和3年度公民館関係者研修会	○
10	19	県教育庁社会教育課～10/20	令和3年度家庭教育支援員研修会	○
10	22	県教育庁社会教育課	第73回九州地区公民館研究大会(鹿児島大会)第1回検討委員会	○
10	27	県教育庁社会教育課	令和3年度かごしま地域学校協働活動研修会(鹿児島市会場)	○
11	12	県教育庁社会教育課	令和3年度かごしま地域学校協働活動研修会(北薩会場)	○
11	26	県教育庁社会教育課	令和3年度かごしま地域学校協働活動研修会(大隅会場)	○
11	30	鹿児島市教育委員会生涯学習課	令和3年度社会学級委員等研修会	○
12	22	県教育庁社会教育課	第73回九州地区公民館研究大会(鹿児島大会)第2回検討委員会	○
1	23	県教育庁社会教育課	令和3年度社会教育関係団体指導者等研修会及びジュニア・リーダー研修会	○
1	27	鹿児島市教育委員会生涯学習課	YouTubeライブ配信に係る研修会	
1	30	県教育庁社会教育課	令和3年度家庭教育における父親の関わり方を学ぶ研修会	○
2	9	大隅教育事務所	令和3年度第2回大隅地区社会教育行政研修会	○
2	9	県教育庁社会教育課	・鹿児島県公民館連絡協議会第2回理事会 ・第73回九州地区公民館研究大会鹿児島大会第1回実行委員会	○
2	19	県教育庁社会教育課	鹿児島の未来を担う青少年の志を育む事業「かごしま 夢 有為塾」解団式	○

(イ) 成果と課題 (○…成果 ▲課題…)

- 情報モラル教育については、デジタルシティズンシップ教育の視点を取り入れ、デジタルトランスフォーメーション(DX)が推進されている現状に合った内容にブラッシュアップすることができた。
- 市町村からの依頼を受け、様々なパターンによるオンライン講座をサポートしたことで、その講座の企画運営をパターンごとに分類、整理し市町村へ情報提供することができた。
- ▲ サポートを行うことで、依頼元の市町村等の職員のスキルアップにつながるような方策を検討していく必要がある。

### 3 かがしま青年塾

#### (1) 目的

これからの鹿児島を担う青年層を対象に、各界で活躍する経営者やリーダー等との交流や現地での研修等を行い、次世代かごしまの地域を支えるリーダーを育成する。

#### (2) 対象者及び定員

学生，社会人で，原則毎回参加できる県内在住の人（18歳～35歳程度）40人程度（先着順）

#### (3) 期日及び会場

令和3年6月～令和3年12月（月1回程度，原則日曜日に実施）

かがしま県民交流センター，県内各地

#### (4) 事業内容

特別講演，基調講演，現地研修，交流会等

#### (5) 受講料

無料（但し，保険料等の必要経費は実費負担）

#### (6) 塾生

38人（学生13人 社会人25人）

#### (7) 塾生の感想

- ・ 鹿児島出身で全国，世界で活躍されている方，県内の事業所などたくさん知ることができた。鹿児島にもこんなすごい人がいる，すごい事業所があると再認識できた。
- ・ グループワークが多く，学生，会社員，公務員と全く異なる業種の方々と意見を交換することができ，大変良い経験になった。
- ・ 地域に根ざした事業所の方々の「生」の声をきくことで，これからもっと鹿児島を活性化させるにはどうすればよいのかと考えるきっかけとなった。もっと地域について学びたい。
- ・ これまでは仕事等，新しい取組をするにあたり，ネガティブになってしまい躊躇することが多々あったが，今は何もかも前向きに取り組もうという思考になった。

#### (8) 活動の様子



特別講演（オンライン形式）



交流会



閉講式

## (9) 実績

活動等		日時等	主な内容・講師等
第1回	◇開講式 ◇基調講演 ◇オリエンテーションⅠ・Ⅱ	6月27日(日) 12:50~17:00 交流センター	◆オリエンテーションⅠ(事業概要説明等) ◆開講式 知事あいさつ 来賓あいさつ(鹿児島県議会議長) ◆基調講演 講師:島津 公保 株式会社島津興業取締役相談役 演題:「歴史は地域の資源 ~歴史を学び、歴史を活かす~」 ◆オリエンテーションⅡ(自己紹介・ワークショップ等)
第2回	◇特別講演	7月18日(日) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:金丸 恭文 フューチャー株式会社代表取締役会長兼社長グループCEO 演題:「Challenge to Innovation」 ◆ワールド・カフェ形式でのグループ討議
第3回	◇特別講演 ◇ワークショップ	9月25日(土) 13:20~16:00 交流センター 【オンライン】	◆特別講演 講師:軸屋 麻衣子 軸屋酒造株式会社代表取締役社長 演題:「鹿児島文化で繋がる~本格焼酎のすべて~」 ◆ワークショップ(意見交換)
第4回	◇現地研修 (南薩方面)	10月24日(日) 11:00~17:00 指宿市2社	◆高いポテンシャルを秘めた県内事業所訪問 ・株式会社中園久太郎商店(指宿市) 講師:中園 大喜 直売所かいもん市場久太郎店長 ・株式会社カマタ農園(指宿市) 講師:鎌田 嗣海 代表取締役
第5回	◇現地研修 (大隅方面)	11月14日(日) 12:30~17:00 曾於市1社	◆高いポテンシャルを秘めた県内事業所訪問 ・たからべ森の学校・星の宿(曾於市) 講師:小野 公裕 有限会社サイバーウェブ代表取締役
第6回	◇交流会	11月28日(日) 13:20~17:00 交流センター	◆県内事業所等の若手リーダーの先進事例発表 ◆県内若手リーダーとの意見交換 講師:須部 貴之 株式会社KISYABAREE代表取締役 堀口 大輔 鹿児島堀口製茶有限会社代表取締役副社長 /株式会社和香園代表取締役社長 高橋 宏和 霧島造林代表
第7回	◇特別講演 ◇開講式 ◇ふりかえり ・まとめ	12月18日(土) 13:00~17:00 交流センター	◆特別講演 講師:西原 一将 株式会社西原商会代表取締役社長 演題:「鹿児島からはばたく」 ◆閉講式 塾生代表あいさつ 知事あいさつ ◆ふりかえり・まとめ 写真でふりかえるかごしま青年塾

※ 第5回[現地研修(大隅方面)]は、当初「たからべ森の学校・星の宿」と「ベクトル株式会社」の2社を予定していましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から日程等の調整を行い、1社のみ訪問となりました。

## 4 かがしま県民大学連携講座

### (1) 目的

県民の多様化・高度化する生涯学習ニーズに応えるため、大学等などの教育機関、市町村等公的機関、民間の団体等と連携して公開講座等を実施する。

### (2) 事業概要

#### ア 講座名

かがしま県民大学連携講座

(うち、交流センター内で実施する講座は「かがしま県民大学とことんまなぶー講座」という。)

#### (7) かがしま県民大学連携講座（交流センター外で各大学等において開催される講座）

中央センターの役割・・・講座情報を集約しホームページ等で広く広報する

【令和3年度実施予定】

大学等	7校（35講座）
-----	----------

#### (4) かがしま県民大学とことんまなぶー講座（交流センター内で開催される講座）

中央センターの役割・・・会場確保や講座運営の支援等 ※詳細は下記

【令和3年度実施予定】

大学等	3校（3講座11回）	その他の団体	5団体（5講座17回）
-----	------------	--------	-------------

#### イ 対象

県民

#### ウ 講座内容

現代的課題等に基づく内容等

### (3) かがしま県民大学とことんまなぶー講座（以下「とことんまなぶー講座」）について（詳細）

#### ア 実施主体

中央センターと、とことんまなぶー講座を実施する団体等（以下「実施団体等」。）との共催

#### イ 連携可能な機関・団体等

- (7) 大学等（大学・短期大学・高等専門学校・専修学校・各種学校）
- (4) 行政機関等（国・県・市町村及び公益財団法人等）
- (7) 企業・民間等（鹿児島県内に主たる事務所を有する企業・民間教育団体）
- (エ) NPO法人等（鹿児島県内に主たる事務所を有する生涯学習の推進に資するNPO法人）
- (カ) その他、生涯学習の推進に資すると中央センターが認める団体等（自主グループ等）

#### ウ 講座内容

広く県民を対象とした講座で、次の事項を全て満たすこと

- (7) 次の項目のいずれかに該当するものであること。
  - ・ 県民の多様化・高度化するニーズや現代的課題に関する内容
  - ・ 独自性・専門性を生かした高度で専門的な内容
  - ・ 中央センターが必要と認める内容
- (4) 次の項目のいずれにも該当しないものであること。
  - ・ 営利を目的とする内容を含むもの（営利事業の広報、人材や物品購入の勧誘を含む。）
  - ・ 特定の政党、宗教、宗派の利害を目的とした内容を含むもの
  - ・ 公序良俗に反する内容を含むもの
  - ・ 公演（演奏会、演劇等）に類するもの

#### エ 講座数

1団体等当たり1講座（1講座の実施回数は5回以内）

※ 大学等については、1学科当たり1講座

オ 「とことんまなぶー講座」の実績

No.	実施機関	講座名	期 日	回数	定員	受講者数
1	鹿屋体育大学	健康づくり・介護予防講座 歩く脳トレ運動 ～スクエアステップ～	10月1日(金) 10月15日(金) 10月22日(金)	3	各 30	48
2	第一工科大学	観測者依存(相対性)をめぐる物理学の発展	10月23日(土) 11月27日(土) 12月25日(土)	3	各 20	30
3	鹿児島純心女子短期大学 (江角学びの交流センター)	シルバー世代のための健康・教養講座	7月3日(土) 7月17日(土) 7月31日(土) 1月8日(土) 1月22日(土)	5	各 30	66
4	記の向くMAMA	あなたに優しい心理学	7月31日(土) 11月20日(土) 12月4日(土)	3	各 20	40
5	ゴッタン成音会	ゴッタンを作って弾こう！ 唄おう！	10月27日(水) 11月10日(水) 11月17日(水) 11月24日(水) 12月1日(水)	5	各 15	40
6	韻天流天吹塾	さつまの伝統楽器天吹を自作し天吹の音色を楽しむ	中止	—	各 15	—
7	鹿児島県マルチメディア教育研究会	メディア教育セミナー2021	中止	—	100	—
8	鹿児島県視聴覚教育研究協議会	鹿児島県放送教育・情報教育研究セミナー	中止	—	30	—
【講座合計】 5 講座 19回 受講者総数 224人						

## カ 成果と課題

### (7) 成果

- ・ 健康づくり・介護予防のための講座として、「歩く脳トレ運動」である「スクエアステップ」の県民への普及に取り組んだ。参加者の方々には、3回連続での受講を呼びかけ、ほとんどの方が連続で受講され、スクエアステップを知っていただくよい機会となった。また、受講者からは、スクエアステップが脳トレにもなって楽しいとの声が聞かれた。(鹿屋体育大学)
- ・ 「観測者依存(相対性)をめぐる物理学の発展」をテーマに、一般相対性理論など理論物理学の最前線と量子コンピューターなどの量子情報科学とのつながりについて、専門的な知識の有無に関わらずわかるように紹介し、受講者にこの分野への興味関心を喚起することができた。講座修了後は受講者から毎回質問があるなど探究心のある意欲的な方が多かった。また多くの方から来年も受講したいとの声もいただいた。(第一工科大学)
- ・ 「シルバー世代のための健康・教養講座」をテーマに、5回の講座を行った。第1回の「子どもは伸び伸び育てよう」では、受講者の方々が真剣に話を聞いて、質問していただいたので、よく理解されていたように思う。第2回の「楽しく笑ってエクササイズ」では、受講者に実際にエクササイズを経験してもらったことで、効果を伝えることができた。また、第5回の「向田邦子作品のスタイル」では、朗読や解説等とおして、向田邦子作品の特徴と良さについて、受講者と共有することができた。(鹿児島純心女子短期大学)
- ・ コロナ禍の合間に、「あなたに優しい心理学」の講座を久しぶりに開くことができたことに加えて、受講者の方々と新たな輪をつくることができてよかった。(記の向くMAMA)
- ・ ゴツタンの練習にどの受講者の方々も真剣に取り組んでいただいた。ゴツタンの作成を加え、計5回の講座だったが、毎回濃密な時間となり、受講者の方々が大変上達したように思う。新型コロナウイルス感染症対策のため延長して実施したが、多くの受講者の方々にきていただきよかった。(ゴツタン成音会)

### (4) 課題

- ・ まだまだ「スクエアステップ」が広く普及されているとは言えないので、今後も介護予防の運動として地域で取り入れてもらえるように普及を図っていきたい。(鹿屋体育大学)
- ・ 物理の教員から物理を専門に学んだことのない方まで、受講者の予備知識には差がありレベル設定が難しかった。「難しいけれど面白かった」という受講者の声もあったので、それぞれがそれなりの理解は得られたと思うが、今後もよりわかりやすく理解してもらえるよう工夫したい。(第一工科大学)
- ・ 大テーマを「シルバー世代のための健康・教養講座」としてバラエティに富んだ講座を5回シリーズで開催しているが、受講者ごとにニーズが異なると思うので、受講者のニーズを調査するなどして、もう少し期待を把握できれば、応じられることも増えるかも知れない。(鹿児島純心女子短期大学)
- ・ 講師が話す場より、参加されている方の話を聞く場を増やすことで、受講者の気持ちをもっと紐解けるようにしたい。(記の向くMAMA)
- ・ 受講者を増やす上で、ゴツタンの宣伝が足りなかったように感じる。今後、チラシでの宣伝だけでなく人前での演奏の機会を増やすなど、積極的に取り組み、鹿児島の民謡を伝えていけたらと思う。(ゴツタン成音会)

## キ 講座の様子



鹿屋体育大学「スクエアステップ」



鹿児島純心女子短期大学  
「健康長寿にスイッチを入れる食事」



ゴツタン成音会「ゴツタン演奏」

### Ⅲ 学習情報の提供

#### 1 学習成果の展示

かごしま県民大学「生涯学習ふれあい展示」の実施

(1) 趣旨

県民が生涯学習として取り組んでいる創作・文化活動の成果を発表する場及び市町村等の体験活動などの各種情報を提供するとともに、生涯学習に取り組む団体・個人の交流を促進し、本県の生涯学習のより一層の振興を図る。

(2) 日時

年2回 午前9時から午後4時まで

(3) 会場

かごしま県民交流センター ギャラリー第1(6階)

(4) 令和3年度実施予定期間・参加団体一覧

(新型コロナウイルス感染拡大防止のため全て中止)

期日		実施団体名		所属市町村等	展示内容
第1回	設営日 令和3年 10月8日(金) 展示期間 10月9日(土) ~ 10月17日(日)	1	エコクラフト手芸	垂水市	手芸
		2	城西写友会	鹿児島市	写真
		3	中央絵手紙友の会	鹿児島市	絵手紙
		4	ペーパーフラワー宮路慶子教室	西之表市	ペーパーフラワー
		5	国立大隅青少年自然の家	国	パネル
		6	県立青少年研修センター	鹿児島県	パネル, クラフト
第2回	設営日 令和4年 1月28日(金) 展示期間 1月29日(土) ~ 2月6日(日)	7	上之園紀子押花・花クラフト教室	鹿児島市	押花, グラスアート, 花クラフト
		8	武岡デジカメ同好会	鹿児島市	写真
		9	ゆかいなアート仲間 <small>(精神保健福祉ボランティアサークルゆめの実)</small>	鹿児島市	絵画, 彫刻等
		10	放送大学鹿児島学習センター	国	パネル, ほか
		11	薩摩川内市教育委員会上飩島教育課	薩摩川内市	絵画, 書道等
		12	県立南薩少年自然の家	鹿児島県	パネル, クラフト
	1月29日(土) 13~16時	①	(メディア自主グループ) リンクさんあい	鹿児島市	メディア自主グループによるビデオ作品上映
	1月30日(日) 13~16時	②	(メディア自主グループ) すみれ	鹿児島市	
	2月5日(土) 13~16時	③	(メディア自主グループ) フレッシュ薩摩	鹿児島市	
	2月6日(日) 13~16時	④	(メディア自主グループ) いちごちゃん	鹿児島市	



## 2 情報システムによる情報提供

### (1) 趣旨

県内市町村等における生涯学習の推進を図るために、生涯学習や本センターの各機能に関する情報をデータベース化しインターネットを通じて県内市町村等に提供する。

### (2) 情報提供の内容

#### ア 視聴覚ライブラリー情報

##### (7) 提供方法

- ・ 図書視聴覚資料検索システム
- ・ 視聴覚ライブラリー予約管理システム

##### (4) 概要

図書視聴覚資料検索システムで視聴覚教材の最新の貸出状況の確認を行い教材の貸出が可能な場合は、視聴覚ライブラリー予約管理システムで予約できる。

##### (7) 情報提供の対象

「かごしま県民交流センター情報システム管理運営規程」に基づき、本センターが視聴覚教材利用団体として登録している次の機関

- ・ 県の機関（県庁各課，出先機関，県立学校等）
- ・ 市町村の機関（各課，公民館，市町村立学校，地域視聴覚ライブラリー等）

##### (エ) 視聴覚ライブラリー教材数（令和4年3月末日現在）

- ・ 16ミリフィルム 1,326本
- ・ ビデオ・DVD 2,927本

#### イ 指導者・講師情報

##### (7) 提供方法

かごしま県民大学中央センターホームページ

##### (4) 概要

本センターが生涯学習等に係る講座の指導者・講師等の情報をデータベース化し、県内市町村等における生涯学習の推進を図ることを目的として市町村等に情報を提供する。

##### (7) 情報提供の対象

- ・ 市町村教育委員会等の生涯学習・社会教育関係機関
- ・ 県教育庁各課・出先機関・教育機関等

##### (エ) 登録者・登録機関数（令和4年3月末日現在）

- ・ 登録者数 30人
- ・ 登録機関 4機関

#### ウ かごしま映像百科デジタルコンテンツ

##### (7) 提供方法

かごしま県民大学中央センターYouTubeチャンネル

##### (4) 概要

鹿児島県内の自然や文化について、平成7年度～12年度にかけてビデオに収録した映像を本センターでデジタルコンテンツ化したもの

##### (7) デジタルコンテンツ数（令和4年3月末日現在）

431本

### 3 学習情報の集約・提供

中央センターでは、本センターの事業や取組だけでなく、市町村や大学等及びかごしま文化ゾーン施設等が実施する事業の内容等を集約し、情報を提供している。メールマガジンは各市町村教育委員会や教育機関等に配信し、刊行物は交流センターに配架し、ホームページ等に掲載している。

#### (1) 「生涯学習だより」の発行

県内の生涯学習振興に寄与し、更に県民に必要とされる機関となることを目指して、中央センターの取組を市町村や県民に周知する。

A4判2ページ両面、年6回、奇数月の発行。



#### (2) 「生涯学習講座情報」の発行

県民への生涯学習情報提供の一助となるよう、中央センターが主催・連携して実施する講座等を月毎にまとめたもの。A4判2ページ両面、年5回発行。新型コロナウイルス感染拡大に伴い、中止や延期が多く発行回数は減少した。



#### (3) 「生涯学習講座案内」の発行

中央センターが主催・連携して実施する講座や、交流センター内施設及びかごしま文化ゾーン施設が実施する各種講座、県内市町村が実施する講座等を紹介するため、大学等や市町村、関係団体から生涯学習情報を収集し、まとめたもの。A4判、両面34ページ



#### (4) 「メールマガジン」の配信

##### ア 趣旨

かごしま県民大学中央センターから講座情報や国の動向等に関する情報、各市町村のモデル的事業の紹介等に関するメールマガジンを発行し、中央センターと各市町村等、更には各市町村同士の恒常的・継続的なつながりをつくることで、本県の生涯学習行政ネットワークを構築する。

##### イ 発行日と回数

毎月1日 月1回 発行

##### ウ 配信対象

市町村教育委員会(43)・教育事務所(7)・教育機関(10)

##### エ 内容

##### (ア) 本センターの講座について

- ・ 今後の予定
- ・ 実施の様子

##### (イ) 各市町村からの情報提供

##### (ロ) 国の動向等

## 4 生涯学習資料の展示

### (1) 趣旨

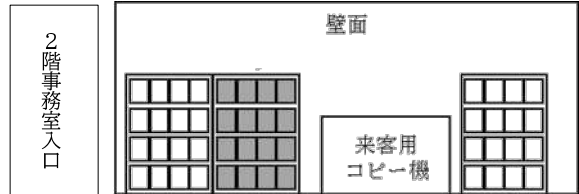
中央センターは、本県の生涯学習の促進等の中核的な施設として、県、市町村民間教育機関、企業の生涯学習に関する情報（チラシ・パンフレット等）の提供及び展示を行う。

### (2) 場所

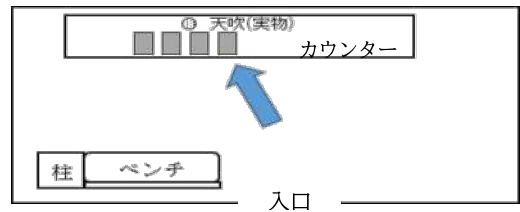
交流センター2階事務室の入口・カウンター、2階情報コーナー・通路壁面、6階情報サロン

### (3) 生涯学習資料展示の様子

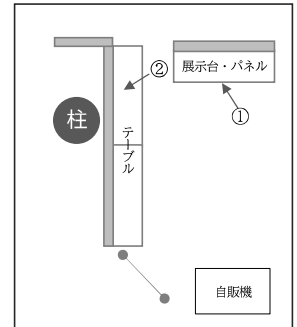
ア 2階事務室入口（主催事業資料、公的な関連事業、関係団体等資料）



イ 2階事務室カウンター（主催事業資料、講座情報、生涯学習だより、薩摩伝統楽器「天吹」等）



ウ 2階情報コーナー（展示台・テーブルやパネル等を活用して全国及び生涯学習関連事業、中央センターポスター等を展示①～②）



エ 2階通路壁面

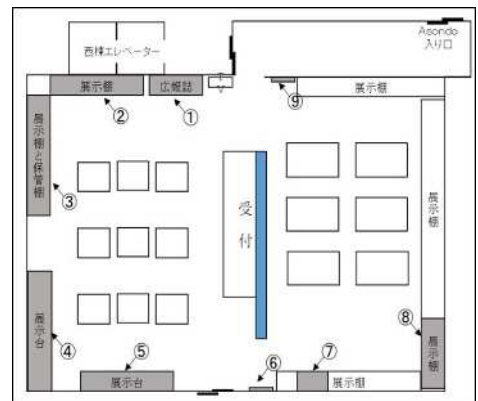


※2階学習コーナー横の利用者の多い通路の壁面に、中央センターの業務内容を説明したパネル（B2判）7枚と「生涯学習だより」（A1判）4枚を掲示

オ 6階情報サロン



※43市町村の最新の広報誌を配架するとともにバックナンバーは過去1年分を保管し、県民が自由に閲覧できるようにしている。（①～③、⑧）



## 5 「かごしま県民大学『学びの手帳』」推進事業

### (1) 概要等

#### ア 目的

生きがいや心の豊かさを求めて、いつでも、どこでも、だれでも、希望する内容と方法で、気軽に学べるようなシステムづくりが必要になっている。

このため、県や市町村等の主催する生涯学習講座の学習機会を県民へ効果的に提供するとともに、その学習者が個々の学習歴を確認したり、学習成果を幅広く生かしたりしていくことを目的とする。

#### イ 概要

中央センターが中心となり、県民の生涯にわたる学習活動を支援し、より学びやすい環境を整備するため、県・市町村・大学等教育機関等と連携して講座、研修等を提供するなど県民の学びを応援し、学習履歴を記録する「学びの手帳」及び「講座案内」を作成して希望者へ配布する。

##### (ア) 「学びの手帳」とは

「学びの手帳」（A5判）は、講座や研修会等を受講した際に、その学びの足跡を自分自身で記録していくためのものである。

##### (イ) 入手方法

「学びの手帳」は、県民交流センターや市町村の生涯学習施設・教育機関等に置いてあり、県民の方なら誰でも入手し利用できる。（無料・年齢不問）

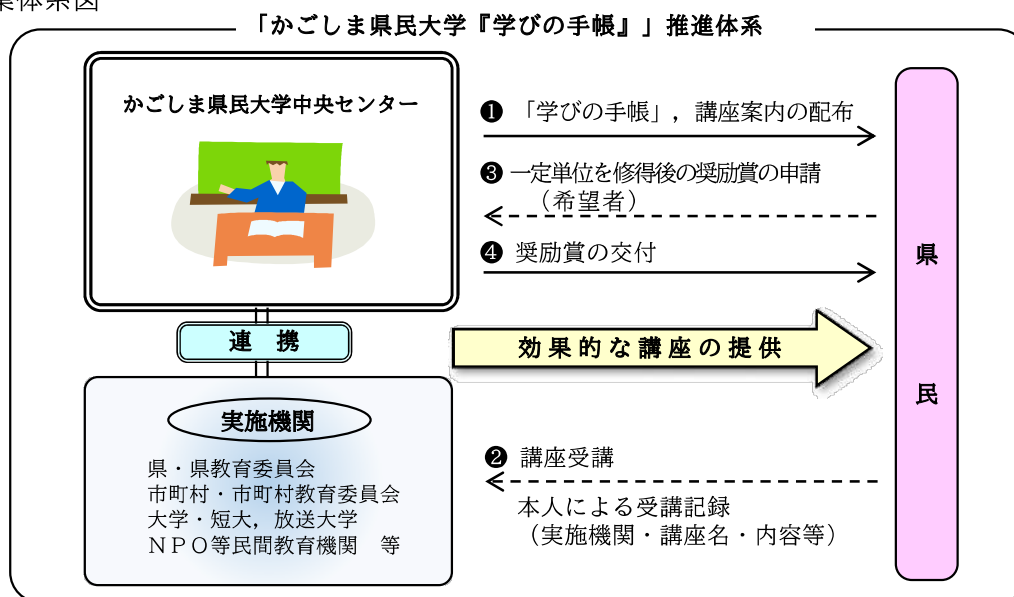
##### (ロ) 奨励賞の交付

県、市町村、大学等教育機関など様々な機関等で行われる講座や研修会等を受講し、「学びの手帳」巻末の「奨励賞申請書」に必要事項を記入して中央センターに申請した方には、40単位ごとに奨励賞（賞状）を交付する。

##### (ハ) 生涯学習講座情報の案内

県や市町村等が主催する生涯学習講座情報等を集約し、中央センター発行の「講座案内」(※)や「ホームページ」で紹介する。(※)参照「Ⅲ-3 学習情報の集約・提供」

### (2) 事業体系図



## 6 生涯学習相談窓口

### (1) 趣旨

県民の生涯学習講座の開設状況や講座内容、学習サークルの育成・支援に関する内容等、生涯学習に関する相談に対応する窓口を設置している。

### (2) 方法

電話相談及び来所相談（交流センターの開館日の午前8時30分から午後5時15分まで）

### (3) 場所

交流センター2階事務室

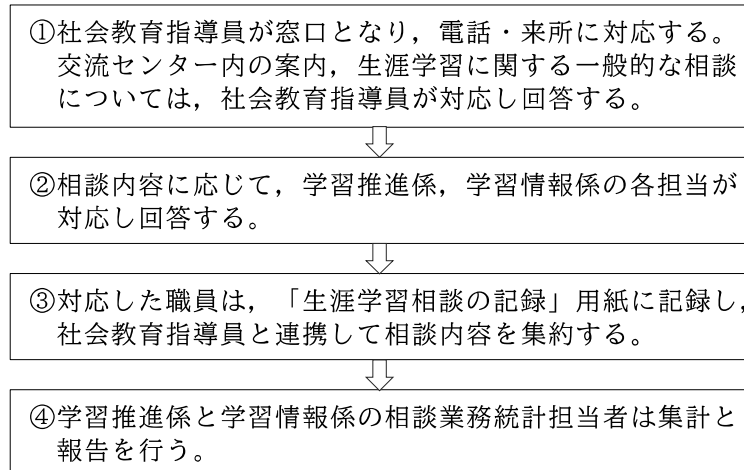
### (4) 対応職員

中央センターの社会教育指導員、社会教育主事及び指導主事

### (5) 内容

「学習施設に関すること」、「指導者に関すること」、「学習機会に関すること」、「学習プログラムに関すること」、「団体・グループに関すること」、「その他」の6つに分類して相談数等を集計している。

### ア 相談業務の流れ



### <生涯学習相談の記録>用紙

生涯学習相談の記録			
1 日時	___月	___日	___時
2 形態	来所	電話	
3 相談者	一般	学生	教員等
	行政	その他	( )
4 分類	※1件の相談等で複数の内容を含むときは、その数だけ○をつける。		
	( )	①学習施設	
	( )	②指導者・講師	
	( )	③学習機会	
	( )	④学習プログラム	
	( )	⑤団体・グループ	
	( )	⑥行政・その他	

### イ 相談件数

相談内容	来所	電話	計	割合(%)
学習施設に関すること	0	39	39	2.0
指導者に関すること	0	111	111	5.7
学習機会に関すること	4	50	54	2.8
学習プログラムに関すること	4	8	12	0.6
団体・グループに関すること	7	640	647	33.1
その他	5	1,085	1,090	55.8
計	20	1,933	1,953	100.0

※割合の小計は小数第2位を四捨五入しているため合計の100%と一致していません。

## IV 調査・研究

### 1 かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会

#### (1) 概要

大学等（高等教育機関）の知の財産を活用したさらなる生涯学習の振興を図るために、県内の大学等に呼びかけて、 かがしま県民大学中央センター大学等連携懇談会（以下「懇談会」という。）を開催し、県と大学等の共催による講座等の開催や、本センター主催事業への参画などについて幅広く情報交換を行う。

#### (2) 事業内容

##### ア 目的

大学等が持つ知の財産を県の事業に反映していく。

- (ア) 大学等がもつ専門的な知識や研究の成果等を県民に還元する講座等を提供する。
- (イ) 大学等が持つ調査・研究力を県の事業に反映させ事業の改善・充実に生かす。
- (ウ) 大学等が行政に期待する事項等を把握することで相互にメリットのある連携を模索する。
- (エ) 永続的なネットワークの仕組みを構築する。（大学コンソーシアム等）

##### イ 内容

- (ア) 懇談会開催のための企画部会の開催と事業計画の作成
- (イ) 懇談会は、県内国公立大学、私立大学、高等専門学校など、県内の大学等に幅広く参加を呼び掛ける。

#### (3) 企画部会

##### ア 日時

令和3年9月1日（水）13：00～14：00

##### イ 場所

かがしま県民交流センター ICT大研修室（西棟5階）【オンライン】

##### ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門）

・小栗 有子 准教授 ・酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科

・金子 満 准教授 ・農中 至 准教授

かがしま県民大学中央センター 2名

##### エ 内容

- ・懇談会のテーマについて
- ・懇談会の内容、運営について ほか

#### (4) 懇談会

##### ア 日時

令和4年1月26日（水）13：30～15：00

##### イ 場所

かがしま県民交流センター ICT大研修室（西棟5階）【オンライン形式】

##### ウ 参加者

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門） 小栗 有子 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科（産学・地域共創センター生涯学習部門） 酒井 佑輔 准教授

鹿児島大学法文学部法経社会学科	金子 満 准教授
鹿児島大学法文学部法経社会学科	農中 至 准教授
鹿児島大学産学・地域共創センター連携推進部門	田代 哲郎 特任研究員
鹿屋体育大学スポーツ人文・応用社会科学系	前田 博子 教授
第一工科大学工学部自然環境工学科（社会・地域連携センター長）	本田 泰寛 准教授
第一工科大学社会・地域連携センター	末重 美穂 氏
鹿児島純心女子短期大学生活学科（江角学びの交流センター長）	河野 一典 教授
かごしま県民大学中央センター所長	青谷有美代 外6人

## エ テーマ

本県の生涯学習推進のための、市町村支援の立場に立った生涯学習推進センター（かごしま県民大学中央センター）と高等教育研究機関としての大学等の協力体制のあり方  
一市町村からの支援ニーズに対する中央センターと大学等の取組の実態一

## オ 内容

- ・ 中央センターの現状報告
- ・ 大学の生涯学習部門における市町村への支援・市町村との連携・協働の現状報告
- ・ 本県の生涯学習推進における課題の共有

## カ 主な意見

### 【大学等の生涯学習部門における市町村支援・連携・協働の現状報告】

- ・ （鹿児島大学）産学・地域共創センターは、地域課題を一元的に収集し、学内研究者との連携強化と取組の促進を行う機関である。サポーター制度や市町村訪問等を実施して、意見交換や情報収集等を通し、大学と地域のマッチングも行っている。
- ・ （鹿屋体育大学）地域連携に特化した部署・センターがない状況であるが、大学スポーツで地域活性化を目指すスポーツアライアンス室等、各部署が体育系単科大学の特殊性を活かした地域連携に具体的に取り組んでいる。体育指導をしてほしいという地元の思いとアスリートとしての資質向上を目指す大学との認識の相違が課題の一つである。
- ・ （第一工科大学）社会・地域連携センターは、地域との連携の窓口としての役割を果たしている。地方都市の小さな大学であるため、事業に取り組むにあたり、費用面の調整・調達、対応可能な教員の手配、コロナ禍での学生への呼びかけの加減等の課題がある。
- ・ （鹿児島純心女子短期大学）地域貢献活動のセンターがなければいけないという国からの要請を受け、江角学びの交流センターが設立された。地元志向が強い学生と地域の関わりを一層強めることを大きな方針するとともに、活動を学校のカリキュラムとして単位化することで多忙な学生の負担を減らす工夫をしている。

### 【本県の生涯学習推進における課題の共有】

- ・ 中央センターと大学等に届いている市町村ニーズを共有すべきである。そのためには、中央センターが市町村となるべく頻繁に連絡を取り合うとともに、市町村に出向いてニーズを掘り起こすことが大切である。
- ・ 中央センターは、市町村と連携を進めるためのマップ化を図る必要があるのでは。
- ・ 地域課題解決のために、市町村がどこに相談をして、どこと繋がればよいかを明確にする。
- ・ 地域のニーズに応じるには、カリキュラムや学習目標との関係もあり負担が大きい。
- ・ 中央センターに、大学・地域間の調整や取組の評価に取り組んでもらいたい。

## 2 生涯学習に関する調査・研究

### (1) 学習ニーズ調査

#### ア 目的

令和3年度「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者を対象に調査をし、今後の本県における生涯学習を推進するための基礎資料とする。

#### イ 対象

「生涯学習県民大学講座」及び「かごしま県民大学連携講座『とことんまなぶ一講座』」の受講者447人

#### ウ 調査方法

アンケート法

#### エ 調査の時期

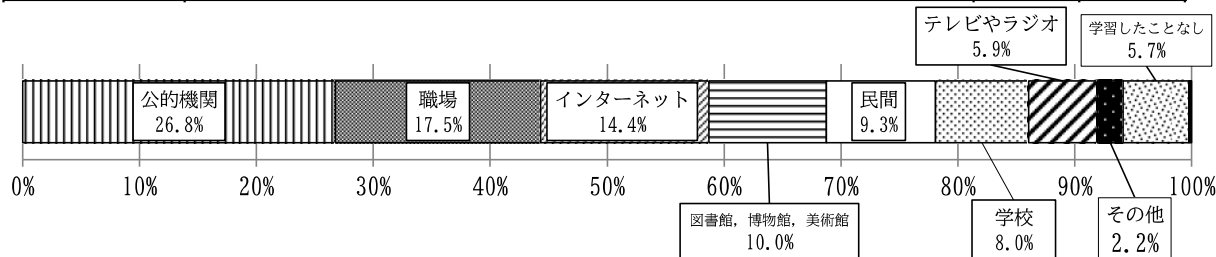
令和3年6月～令和4年2月

#### オ 調査結果

##### (ア) 学習場所・形態

(複数回答, 単位: 人)

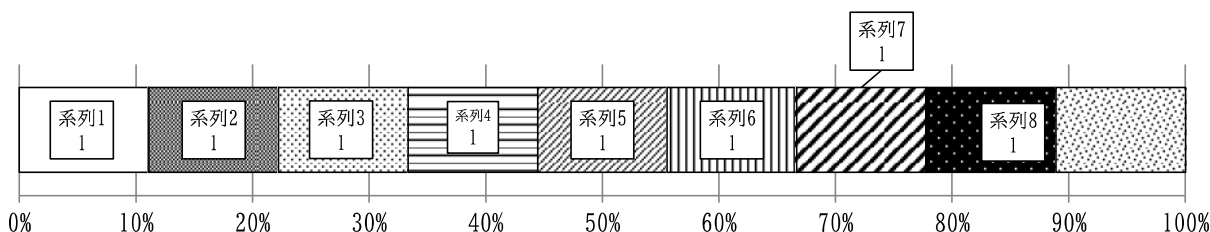
場所・形態	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
公的機関		0	0	7	21	41	50	49	60	4	0	0	232	26.8%
職場		0	1	16	37	40	37	14	5	2	0	0	152	17.5%
インターネット		0	0	15	18	34	33	16	9	0	0	0	125	14.4%
図書館, 博物館, 美術館		0	0	5	14	11	22	14	19	2	0	0	87	10.0%
民間		0	1	1	13	16	17	12	20	1	0	0	81	9.3%
学校		0	2	4	9	11	23	11	9	0	0	0	69	8.0%
テレビやラジオ		0	0	2	6	4	16	13	9	1	0	0	51	5.9%
その他		0	0	4	3	7	5	0	0	0	0	0	19	2.2%
学習したことなし		0	1	3	0	13	17	13	2	0	0	0	49	5.7%
分からない		0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	0	2	0.2%
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計(延べ)		0	5	57	121	178	220	142	134	10	0	0	867	100.0%
回答者実人数		0	4	26	61	93	107	79	70	7	0	0	447	



##### (イ) 受講したいテーマ

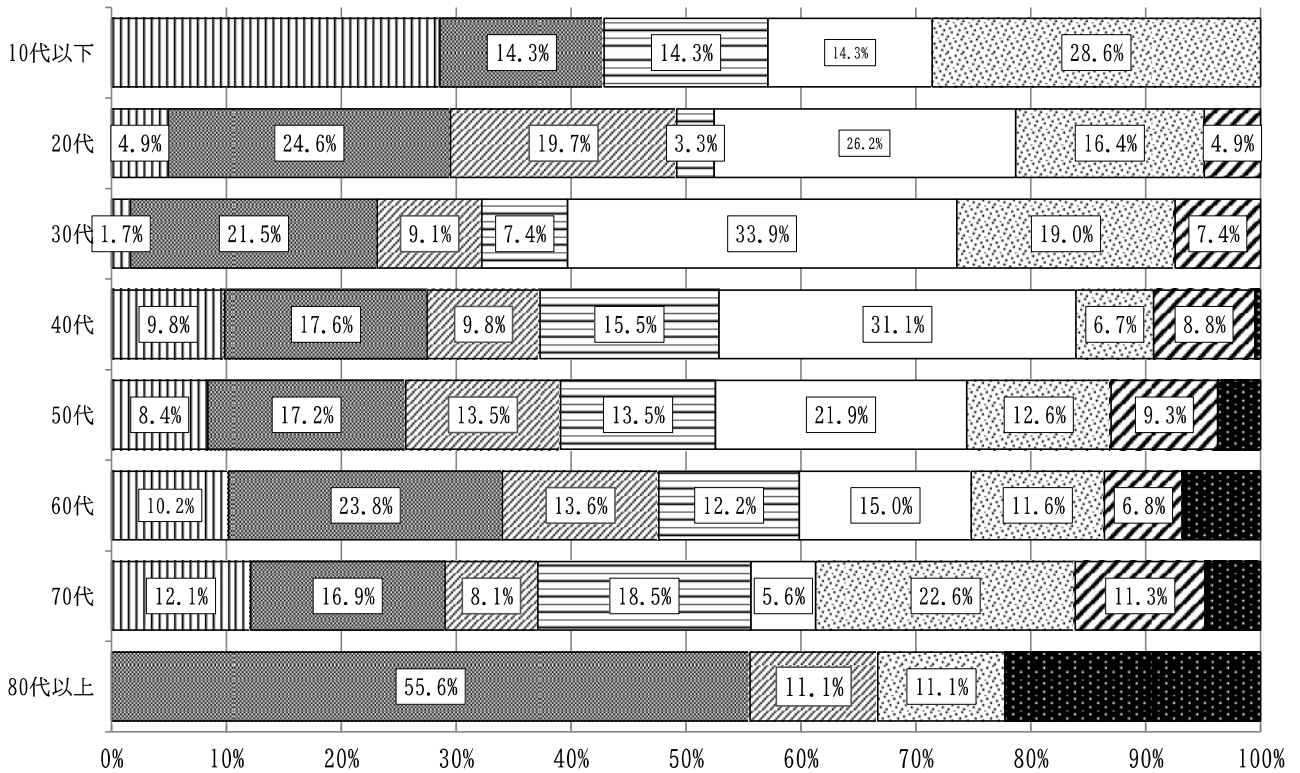
(複数回答, 単位: 人)

テーマ	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
教育・育児		0	1	16	41	60	47	22	7	0	0	0	194	22.1%
地域活性		0	1	15	26	34	37	35	21	5	0	0	174	19.8%
医療・健康		0	2	10	23	13	27	17	28	1	0	0	121	13.8%
環境		0	1	2	9	30	29	18	23	0	0	0	112	12.8%
産業		0	0	12	11	19	29	20	10	1	0	0	102	11.6%
防災		0	2	3	2	19	18	15	15	0	0	0	74	8.4%
介護・援助		0	0	3	9	17	20	10	14	0	0	0	73	8.3%
その他		0	0	0	0	1	8	10	6	2	0	0	27	3.1%
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計(延べ)		0	7	61	121	193	215	147	124	9	0	0	877	100.0%
回答者		0	4	26	61	93	107	79	70	7	0	0	447	





□防災 ■地域活性 ▨産業 □環境 □教育・育児 □医療・健康 □介護・援助 ■その他 □無回答

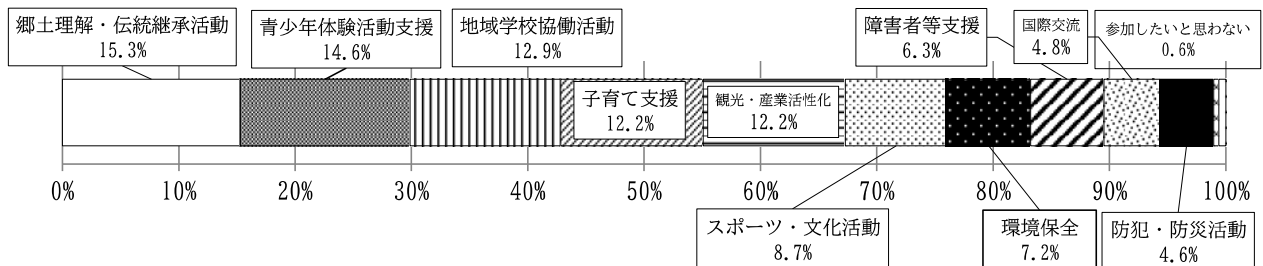


- ・地域活性については、どの世代でも比較的関心を持っていることがわかる。
- ・60代までの各世代において、教育・育児への関心が高いことがわかる。
- ・どの世代においても、医療・健康への関心をもっている方が一定の割合いることがわかる。

(ウ) 受講後に参加したい活動

(複数回答, 単位: 人)

活動	年代	10代未満	10代	20代	30代	40代	50代	60代	70代	80代	90代	不明	合計	割合
郷土理解・伝統継承活動		0	1	9	21	30	40	37	36	1	0	0	175	15.3%
青少年体験活動支援		0	0	17	31	53	31	20	15	0	0	0	167	14.6%
地域学校協働活動		0	2	5	25	42	36	28	10	0	0	0	148	12.9%
子育て支援		0	1	15	29	40	33	10	12	0	0	0	140	12.2%
観光・産業活性化		0	0	10	19	25	38	33	12	3	0	0	140	12.2%
スポーツ・文化活動		0	1	5	8	18	31	21	16	0	0	0	100	8.7%
環境保全		0	0	0	15	22	23	11	10	1	0	0	82	7.2%
障害者等支援		0	0	5	10	15	24	5	11	2	0	0	72	6.3%
国際交流		0	0	6	8	15	14	5	7	0	0	0	55	4.8%
防犯・防災活動		0	1	3	7	14	10	12	6	0	0	0	53	4.6%
その他		0	0	0	2	0	0	0	1	2	0	0	5	0.4%
参加したいと思わない		0	0	0	3	0	1	1	2	0	0	0	7	0.6%
分からない		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
無回答		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%
合計(延べ)		0	6	75	178	274	281	183	138	9	0	0	1,144	100.0%
回答者		0	4	26	61	93	107	79	70	7	0	0	447	



(2) 生涯学習に関する調査

ア 目的

生涯学習に関する県内の推進状況を調査することにより、事業の運営に生かすとともに、生涯学習環境の充実を図る。

イ 対象

大学・短大・高等専門学校（12），民間教育機関（3）

ウ 調査方法

調査票

エ 調査の時期

令和3年3月～6月

オ 調査結果

(ア) 大学・短大・高等専門学校・民間教育機関等の令和2年度の事業等

	講座等開設機関等	講座数	計	受講者数	計	社会人の受入状況				
						特別試験等入学者数	聴講・研究生等受入者数			
1	大学・短大等の公開講座	鹿児島大学	19		833	0		55	584	
		鹿屋体育大学	7		140	4		0		
		鹿児島国際大学	1		281	11		7		
		第一工業大学（現 第一工科大学）	9		74	0		0		
		志学館大学	1		13	1		8		
		鹿児島純心女子大学	4	80	210	0	257	0		
		放送大学鹿児島学習センター	8		221	230		498		
		鹿児島県立短期大学	1		182	2		4		
		第一幼児教育短期大学	3		19	1		0		
		鹿児島女子短期大学	1		1	8		11		
		鹿児島純心女子短期大学	14		163	0		1		
		鹿児島工業高等専門学校	12		67	0		0		
2	民間教育機関	JEUGIAカルチャーセンターイオンモール鹿児島	120			400				
		南日本リビング新聞社リビングカルチャー倶楽部	285		465	7,950		9,336		
		山形屋文化教室	60			986				

(イ) 市町村における他機関との連携事業の実施状況

1	学校等（幼・保・小・中・高・専修学校・大学等）と連携して開設する生涯学習事業	13市	5町	1村	37件
2	企業等と連携して開設する生涯学習事業	6市	4町	2村	28件
3	民間教育機関（NPO法人，カルチャーセンター等）と連携して開設する生涯学習事業	7市	3町	0村	18件
4	他市町村と連携して開設する生涯学習事業	5市	1町	0村	11件

## V その他

### 1 視聴覚サービス

#### (1) 趣旨

ア 中央センターに設置された県視聴覚ライブラリーの円滑な運用を図り、学校教育や社会教育等における視聴覚教材の活用を促進する。

イ 学校教育及び社会教育の学習活動に役立つ映像教材を整備し、地域視聴覚ライブラリー、市町村、県立学校、関係機関・団体等に教材を貸し出す。



県視聴覚ライブラリー

#### (2) 概要

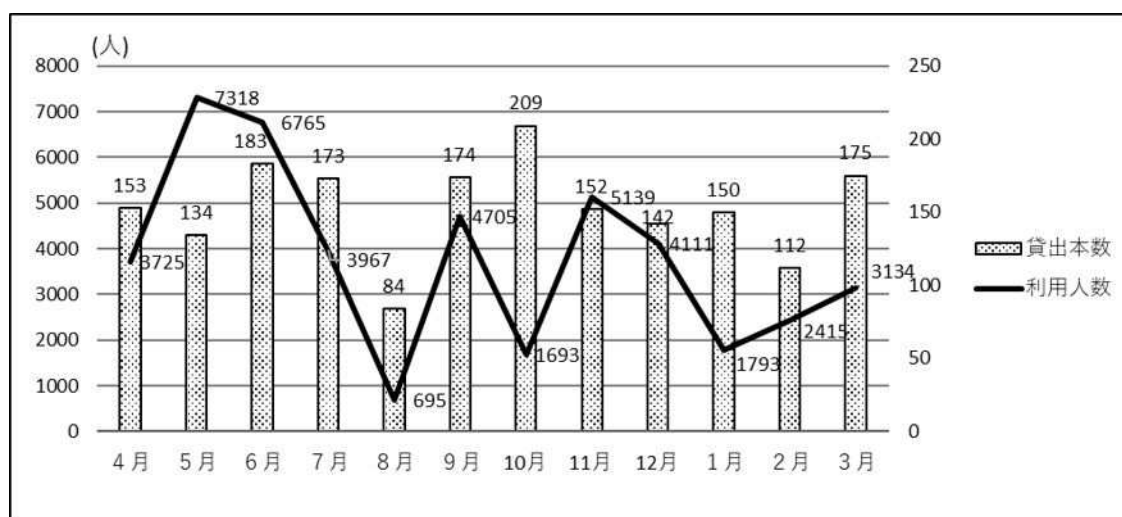
ア 視聴覚ライブラリーは、映像教材を活用し、より分かりやすく具体的な学習や研修を行うための支援をしている。

イ 貸出権・上映権付きのDVD・ビデオ・16ミリフィルム等映像教材を、営利を目的としないこと等を条件に、学校教育・社会教育等の関係機関・団体に貸し出している。

県視聴覚ライブラリー所有教材数（令和4年3月末現在）

メディア種別	所有本数	メディア種別	所有本数
ビデオ・DVD	2,927本	16ミリフィルム	1,326本

#### (3) 令和3年度の視聴覚教材利用状況



#### (4) 教材活用促進のための取組

中央センターホームページ上に「最新映像教材一覧」と「よく利用される教材一覧（ジャンルごと）」を掲載している。また、メディア研修講座において、教材貸出手続等や借用及び返却手順の手順について講義したり、実際に視聴覚教材予約システムを使って説明したりするなどしている。

## 2 アジア国際子ども映画祭参加作品選定事業

### (1) 目的

子供たちが自ら作成した3分間の映像作品をコンテストするアジア国際子ども映画祭の九州ブロック事務局として、作品を募集するとともに映画祭出品作品を選定する。

### (2) 内容

#### ア 趣旨

「アジア国際子ども映画祭（以下「映画祭」という。）」は、子供たちが自ら制作した3分間の映像をコンテストする映画祭である。近年、子供たちを取り巻く環境は、非行やニート、いじめ、青少年犯罪といった様々な問題を抱えている。この映画祭は、こういう時代を生きる子供たちに少しでも夢や希望を与えたいという思いから生まれた大会である。

#### イ テーマ

「私の目標」

※ テーマ「私の目標」は、令和4年度へ引き継がれる。

#### ウ 応募資格

九州各県の小学生，中学生，高校生及びそれらの年齢に相当する個人またはグループ

### (3) 第14回アジア国際子ども映画祭IN南あわじ市について

令和2年度中止となった「第14回アジア国際子ども映画祭 IN 南あわじ市」については、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、令和3年度も中止

令和3年度 かのしまの生涯学習  
(かごしま県民大学中央センター事業報告書18)

令和4年4月発行

編集・発行 鹿児島県教育庁 かごしま県民大学中央センター

住所 〒892-0816 鹿児島市山下町14-50(かごしま県民交流センター内)

生涯学習課 学習推進係 TEL 099-221-6604 FAX 099-221-6640

生涯学習課 学習情報係 TEL 099-221-6606 FAX 099-221-6640

E-mail kenmindaigaku@pref.kagoshima.lg.jp(共通)

ホームページアドレス [http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central\\_center-2-2-3-3/](http://www.kagoshima-pac.jp/functions/central_center-2-2-3-3/)

